

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ しょうほうし



「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 9

ぶるーむ.com

2010.10

あきごう
秋号

じぶん せいかつたの
～ 自分の生活楽しんでますか? ～



あつ 暑かったあ～ (_ -), でも! 楽しかったあ～ (^ -) ☆

CONTENTS

P2 ぶるーむってこんなとこ.....

P3 イッセイ「自立自在」-第一回-

P5 高尾ヘルパーコラム

..... 人権ワークショップ

P7 わっしょい報告

..... ふうせんバレー おしらせ

◆「ぶるーむ」の由来◆

英語のbloomをひらがな表記したものです。
bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業などが)花開く」などの意味があります。この北九州の地で、自立生活の土壌をあらためておこすことから始め、それぞれの自立生活の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲きほこるという願いをこめました。

ぶるーむってこんなとこ

やっぱり「〇〇したい」
「××が欲しい」よね？

映画に行きたい。カラオケに行きたい。スポーツ観戦したい。テーマパークに行きたい。コンサートに行きたい。居酒屋に行きたい。電車に乗りたい。バス買い物に行きたい。あの店に食べたい。あれを見たい。に会いたい。仲間が欲しい。友達か。彼氏が欲しい。出会いが欲しい。習い事。教育。運転免許。部屋探し。し。制度。増やしたい。出世。成功。不安を取り除きたい。強くなり。優しく。自分のことは自分で決めたい。自分らしく生きて。



障害があったって やりたいことや欲しいものは たくさんある
つまずいたり転んだり 時にはけがをするかもしれないけれど
あきらめたりはしたくない
自分の人生だから たった一度の人生だから
思いっきり自分らしく生きてみたい

ぶるーむはそんな「〇〇したい」「××が欲しい」あなたを

同じ障害を持った仲間たちがサポートします

【相談受付】

制度、相談、生活相談、住宅相談など、自立についての方々の相談を受け付けています。

【権利擁護活動】

障害者の基本的な権利を守るために、行政や関係機関との交渉を行っています。

【介助者派遣サービス】

家事一般、外出、食事、入浴、排泄、着替え、体位交換など、内容に応じて介助を必要とする人に、必要なサービスを提供します。

【啓発活動】

障害者の抱える問題を理解してもらうために、福祉講座や市民講座、教育機関の学習会などに講師派遣を行っています。

自立自在

Jiritsu-Jizai

だいいつかい
- 第一回 -

ゴゴウノリフミ

こくら ひとりぐ はじ がつ いちねん ひとりぐ い じかん かいじょしゃ
小倉で一人暮らしを始めて、10月でちょうど一年。一人暮らしと言っても、24時間、介助者と
いっしょ ひとりぐ にねんまえ か
一緒なら一人暮らしじゃないじゃん！とか、二年前なら、噛みついてたかもしれない。あるいは、
じかん たにん いっしょ きゅうくつ とうじ
24時間、他人と一緒にだなんて窮屈なだけじゃん！と、しらけていたかも。とにかく、当時は、ま
さか自分 ひとりぐ おも じりつせいかつ すば
さが自分が一人暮らしをするなんてことは思いもよらなかった。まして、自立生活の素晴らしさを
かた わらい
語ろうとは。（笑）

このエッセーでは、"障害を負ってからの生活"、"自立生活センター（以下 C I L）への関わり、
げんざい せいかつ おも か つら おも
現在の生活"など思いつくままに書き連ねようと思う。

さて、自立生活センター ぶる一むにスタッフとして関わり始めたのは、いまから二年前だが、ヘル
パーステーション あいえるの利用者としての関わりは、もっと長い。あいえる利用は7年を
こ とうじ なん りかい しょうがいしゃ
越える。ただし当時は、C I Lとは何なのか、まったく理解していなかった。障害者がやっている
しょうがいしゃ りかい じぎょうしょ おも じつ かんが
から障害者に理解のあるヘルパー事業所、くらいにしか思っていなかった。そして、実はこの考え
にねんまえ か かんしん
は二年前まで変わらない。つまり関心がなかった。

ぶる一むに携わるいきさつはいつか書くとして、まずスタッフ見習いとして参加し、最初に
あ かべ じりつ
ぶち当たった壁は「自立とはなんぞや？」だった。

C I Lでは、一人暮らしをしていない障害者は自立できていない障害者、という雰囲気は私に
かん じりつ ひとりぐ とうじ じっか りょうしん どうきよ わたし もんだい
は感じられた。自立＝一人暮らし。当時、まだ実家で両親と同居していた私にとって、この問題
じゅうよう じりつ はんじんまえあつか がまん わたし はんぱつ
は重要だった。“自立できてない”と半人前扱いされることは我慢ならなかった。私は反発し、
こたわった。

この誤解については当初から先輩スタッフにも説明を受けてきたのだが、受ける説明と雰囲気との
こかい とうしょ せんぱい せつめい う う せつめい ぶんいき
ギャップに、どうしても腑に落ちずにいた。

そこで、全国の自立(一人暮らし)障害者に、できるだけ会って話を聞きまくった。行けるセン
ターには、どこにでも行った。ときには不躰で、失礼なことも言ったし、わからないことはわかる
まで食い下がった。



いっほう こうざ べんきょう せっきょくてき さんか きほん
一方、講座にも勉強のためと積極的に参加した。とくにピアカンはC I Lの基本なので、しつ
かり身につけなければならない、との思いから全国各地で参加した。

さいしょ さんか ※ 1 い み いんしょうぶか きおく のこ ※ 2 ※ 3
最初に参加したピアカン講座はいろんな意味で印象深く記憶に残っている。リーダーはピアカウ
ンセラーとして有名ゆうめいな女性じょせいだった。実際、彼女の講座は評判じっさいどおり素晴らしいものだった。最初の
ピアカン講座のリーダーが彼女かのじょだったおかげで、その後ピアカンに苦手意識こを持たずにすんだのだと
おも
思う。

こうざ なか ぎちん おも しつもん かのじょ こた りるせいぜん
この講座の中でも、疑問に思ったことはしつこく質問した。彼女の答えは理路整然としていて、
とてもわかりやすい。この人なら自立の意味を知ってる。納得いく説明をしてくれるはずだと思った。
そこで、自立について言葉を変え、角度を変えていろいろ質問した。

しつもん き かのじょ い ※ 4 おも
しかし、質問すると決まって彼女はこう言う。「ごっくん(ピアカンネーム)は、どう思う?」と。
で「自分はこう思う」というと次には、「それでええと思うよ」と微笑むだけなのだ。

い や い や い や、オレの考えじゃなくて! 正解を教えてくださいよ! と思ったものだ。それが“答え”
だと気づくのはもう少しあとになる。

さくねん がつ かのじょ つと べつ こうざ さんか いちねん さいかい
昨年10月。彼女がリーダーを務める、別のピアカン講座に参加した。ちょうど一年ぶりの再会だ
った。挨拶もそこそこに講座は始まり、まともに話せたのは2~3分くらいの短いセッションのと
きだった。

はなし おも だ わたし はな お かのじょ うれ わら
話のテーマは思い出せないが、私が話し終わると、彼女は嬉しそうに笑いながら、いきなりこ
う言った。「ごっくん、この一年で、すっかり自立したねえ! すごい!」と。

ひとりぐ じりつ はなし なに かのじょ かん
一人暮らしや自立の話など何もしていないのに、なぜ彼女がそう感じたのか、いまだにわからな
い。だけど、もはや答えを知りたいとも思わない。

いま わたし じゅうよう わたし せいかつ じざい
だって今の私にとって重要なこと…それはいま、たしかに私の生活は自在である、ということ
だから。

つづ
(続く)

ほんぶんちゅう せつめい
本文中の説明

※1 ピアカン…ピア・カウンセリングの略。

※2 リーダー…講座を進める役割を持った人。

※3 ピアカウンセラー…ピアカンの手法を用いて相談業務をする障害者。

※4 ピアカンネーム…自分で選ぶ。講座中に呼ばれた名前。

※5 セッション…ピアカン講座で行われる聞き合いのこと。





夏も終わり、過ごしやすい季節になりました。今回の日々凡凡を書くにあたって、この事を書こうかどうかとても迷いました。しかし頭に浮かんでくるのはこの出来事ばかりですし、この出来事を無視して自分の人生を振り返り、また続けていく事が出来ないと感じ書くことにしました。

前置きが長くなりましたが、皆さんにも起こりうる、またはもう体験した方も大勢いらっしゃると思います。九月の始めに私の大切な人が亡くなりました。身内とかではありませんが、身内以上に絆を感じることもあり、その方が年上であったので良き兄貴と言うか、上手く関係を説明することが出来ませんが、とても大切な人でした。

その人はまだ若くして逝ってしまいました。最後の瞬間に立ち会う事が出来ましたが、私には強い悲しみと損失感と怒りといいますか、そんな感情がわいてきました。私はその方に大変お世話になっており、お葬式の手伝いもやらせて頂きました。体を動かして動かして考えないように努めました。

それから少し時間が経って色々考える事が多くなりました。人の儂さといえますか、なにか空虚な感じで、何をやってもフワフワと落ち着きません。大袈裟かも知れませんが世界が変わったと言うか、これ以上のショックを、これからの人生で受けることはあるのだろうかと思っています。

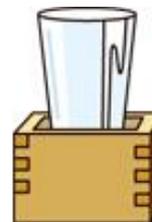
しかしドラマや映画でよく聞く言葉ですが、亡くなった人を想っても帰っては来ない。人は忘れることで生きていける。

言葉の意味は理解できます。しかし感情がそれを許しません。今私は原稿を書きながら自分の浅はかき、考えのたりなさを噛み締めています。今までしたり顔でこんな言葉を使っていたことを…。

しかしながらこの言葉達は間違っことばたちてはまちがいません。確かに私には守るべき家族もいます。
大切な人達も沢山たいせつできました。亡くなった人の想い出に縛られて、自分も駄目になって
はならないということはわかっています。今からどのくらい時間が必要かわかりませんが、
これだけはわかっています。私は貴方の事は忘れないでしょう。これからの人生いくつになっても
尊敬と感謝をもって貴方や仲間との馬鹿な話をして笑って暮らすでしょう。

それほど貴方は私の人生に影響を与えました。

心から「ありがとうございました」と伝えたいと思います。



何だか手紙のようになってしまいましたが、「今を悔いなく生きる」
「明日、死んでも後悔しない様に生きる」これは私だけではなく、
すべての人にあてはまる事だと思ひます。

私も早く前を向きたいですが、まだしばらくは、お酒の量が増えそうです。

それでは皆様また次回までお元気で。チャオ！！



人権学習ワークショップ ～ 障害者が歩けば差別に当たる！？ ～



10月14日(木) 東部障害者福祉会館にて、人権ワークショップを開催しました。

障害を持って生活していると、辛く悲しい思いをすることがたくさんあります。

また、支援者として障害のある人に関わっていると、社会の理不尽な対応に腹立たしさや悔しさを感じる
ことがよくあります。

そこで、「差別って何だろう」私たちが日々直面しているそのような出来事は「差別」にあたるの
だろうか？ また、「差別」をなくすためにいま私たちに何ができるのだろうか？…という事について考
えてみました。

差別に関する体験や事例を3つのグループに別れて、それぞれ事例を付箋に書き、模造紙に貼り出す作業
をしたのですが、みんなで話をしながら、また自分の今までの事を振り返りながら事例を出しあい、発表を
しました。

差別について深く考えるきっかけになったのでは…と思います。

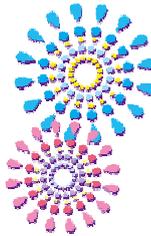
参加していただいた皆様ありがとうございました。 すえよし なつこ



「わっしょい百万夏祭り」に出店しました (*^_^*)

8月7日、8日にわっしょい百万夏祭りがありました。そこでぶるーむは一儲けしようと初出店を試みました(笑)(^^)

ビールに枝豆、ジュースにフライドポテトを準備し挑みました。売れ行きはなかなか良く用意した品は見事に完売することができました。これも頑張ったスタッフと買ってくださいました方や遊びに来てくださった皆さんののおかげです！ありがとうございました！！



この日は売り子として「いらっしやいませえ〜」「冷たいビールはいかがですかあ〜」など声をだしせつせと働きました。

出店では日頃の業務より頑張ったかもしれませんね…(笑)

楽しみながら出店することができました！！それと売り子に向けている人も数名いましたね(*_*)どちらが本業なのやらと…^_^;

小倉に住んで数年が経ちますが、わっしょい百万夏祭りを楽しんだのは初めてでした！「よさこい」もかっこよかったですよ(*^_^*)

少しばかり抜け出して見に行ってみましたっ！ (竹)



おしらせ

ふうせんバレーボール 全国大会

今年もやってきました！！

「第21回 全国ふうせんバレーボール大会」

去年は、記念すべき20回大会を無事に終え、

今年また新たなスタートをきろうとしています！！

今年も全国から、ふうせんバレーボール発祥の地「北九州市」で

強豪チームによる激しいバトルが繰り広げられることでしょう☆(-)☆

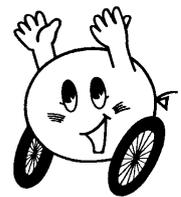
今年はどうな大会になるのでしょうか！応援に行ってみませんか？

日 時：平成22年11月14日(日)

9:00 ~ 16:30

場 所：北九州市立総合体育館

入 場 料： 無 料



編集後記

「わっしょい百万夏祭り」で、今年初めて ぶるーむ からお店を出しました☆
 何を出すか・・・金額はどうするのか・・・あ～でもない、こ～でもない
 と試行錯誤しながら当日を迎えましたが、何せ全てが初めての経験(>_<)
 終わってみると全てが良い経験になったと思います(^o^)
 ご協力していただいた皆様！ありがとうございました！ (#.^.#)



【 な 】

■ロゴについて■



この3つが繋がったチューリップには、3J=「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■会員募集■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」みずからが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が重要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えるからです。

自立生活センターぶるーむはこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員	3,000円
賛助会員	5,000円

【郵便振替】口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ
 記号番号：17490 35083341

編集人 連絡先 NPO法人 自立生活センターぶるーむ
 〒803-0818
 福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F
 TEL 093-562-5431
 FAX 093-583-3257
 E-Mail cil-bloom@nifty.com
 URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

定価 1,000円